

京 都 大 学

國文學論叢

第 32 号

薄雲巻の「みぎはの氷」

——その解釈と機能について——

林 欣慧

(二)

『為兼卿和歌抄』「境にしたがひて」考

中村 健史

(二九)

『文明十六年二月和漢千句』考

小山 順子

(二三)

——付、第五百韻・三つ物翻刻——

策彦紹巴両吟和漢千句（国会図書館本）翻刻と解題

楊 昆鵬
中村 健史

(三九)

平成二十五年度 修士論文要旨

(六五)

京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室

平成 26 年 (2014) 9 月

前々号(第30号) 目次

藤原定家『内裏名所百首』四季歌考

——伝統と独創性——

小山 順子

『苔の衣』系譜考

関本 真乃

東京国立博物館蔵「伏見院詠草」の性格

——合点・丸印の意味するもの——

阿尾 あすか

宗祇の「て」

有松 遼一

平成二十四年度 修士論文要旨

京都大学国文学論叢 論文総目録
自創刊号至第三十号

前号(第31号) 目次

一条兼良『藤河の記』の漢籍利用

——鳳のあぶりもの、麟のほしじ——

中村 健史

幸田露伴『暴風裏花』の原話

須田 千里

菊池寛「恩讐の彼方に」の改作について

田鎖 数馬

『蒙求和歌』第三類本 本文(二三)

——哀傷部から雑部——

阿尾あすか 小山 順子

竹島 一希 薦 清行

中島 真理 濱中 祐子

森田 貴之 山中 延之

平成二十五年度 京都大学国文学会 研究
発表要旨

漱石『虞美人草』(十八)におけるメレデ
イスの引用について

小鹿原 敏夫

投稿規定

- 一、本誌は、投稿資格を設けることなく、国語学・国文学に関する論文を広く募集します。
- 一、投稿論文は四百字詰原稿用紙にして四十枚（本誌の頁数で十二頁）以内とし、これを超過した場合、実費をご負担いただきます。
- 一、原稿の採否は査読委員会が決定いたします。採否の問合せにはお答えしないことを原則といたします。
- 一、掲載された論文は原則として京都大学学術情報リポジトリにその全文を公開します。
- 一、原稿の締切は毎年二度、七月・一月の末日とします。
- 一、ワープロを使用した場合は、ソフト名（機種）・四百字詰原稿用紙に換算した原稿枚数を明示の上、電子媒体と印字した原稿を同封してお送りください。電子媒体と印字した原稿は返却いたしません。
- 一、四百字詰原稿用紙二枚程度の要約文を添付してください。
- 一、校正は原則として再校までとします。
- 一、論文掲載の場合は本誌三部を贈呈いたします。それ以上の本誌・抜刷については実費を申し受けます。
- 一、宛先は以下の通りとします。
〒六〇六―八五〇一 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室内「國文學論叢」編集部

平成二六年九月三〇日 印刷
平成二六年九月三〇日 発行

京都大学國文學論叢 第三二号

編集発行者

京都大学大学院文学研究科
国語学国文学研究室内
「國文學論叢」編集部
〒六〇六―八五〇一
京都市左京区吉田本町
電話 〇七五―七五三―二八二四

印刷者

京都市南区吉祥院池ノ内町10
明文舎印刷株式会社

表紙題字『易林本節用集』より

（京都大学文学部蔵慶長板）